

2025 年度 ハイムさざんか 地域連携推進会議議事録

- 1.開催場所 ハイムつばき
- 2.開催日時 2026 年 1 月 21 日 10 時から 11 時
- 3.出席者 町内会代表者 利用者家族 利用者 計画相談支援員 鶴見区高齢・障害支援課職員医療・福祉団体理事長 当法人理事長 施設長 当該ユニットリーダー 当法人本部事務局長

議事内容

各自自己紹介のあと、町内会代表者より町内会での取り組みや年間行事などの説明あり。代表者よりどのような行事等に対して、参加して欲しいか。また、該当ユニットではどのような行事であれば参加できそうか。などの意見交換あり。

町内会役員会に出席しているが、施設名ではなく個人名で出席しているため当該ユニットの利用者が参加している。との認識が町内会側では薄いため今後は当該ユニットからの出席であることをお伝えしながら出席することで、地域に溶け込みやすくなるのではないかな。との意見あり。

今年度は、防災訓練やお祭りなどに参加。次年度以降も続けて参加していきたい。との意見あり。

利用者家族からは、1 人暮らしをさせることが不安であったためグループホームを選択した。夜間には職員が不在である。ということで不安な思いもあったが、暮らし始めたらそのような不安も薄らいだ。

そろそろグループホームを卒業し 1 人暮らしに移行しても良いか。と家族は考えているが本人には不安な部分も多いようである。隔週で実家に戻り支援を行っていることも要因かと思い減らすようにアドバイスするが、これも本人には不安が多いようで隔週から減らすことが難しい。

今後に向けては、職員の方々と連携しながら進めていきたいと思っている。

計画相談支援員からは、精神障害をお持ちの方が入院先から 1 人暮らしを始めるにはとてもハードルが高い。地域生活のルールを知らないままでは地域に馴染むことはできない。そのため、このようなグループホームで生活することで地域社会との関りを学んでいく。ゴミを捨てること 1 つとっても、町内会のルールなどをグループホームで学ぶから生活をして行ける。このような点もアパート型グループホームの有用性である。

最後に、これから行われる地域行事にどのように参加していけるか協議を開始し、町内会役員会に報告することを確認した。